# 第25回 さんぽを楽しむ会 実施報告

# 「日本橋七福神と人形町界隈」コース

令和5年(2023年)11月22日(水)、旭川東高等学校東京同窓会の「さんぽを楽しむ会」は、コロナ禍の3年間の 休止を経て、今年5月に続き、第25回目の記念大会を開催することができました。天気は雲1点もない快晴、無風、 20℃という絶好の散歩日よりでした。参加者は、東高 7 期から 47 期までの 24 名。 男性 13 名、 女性 11 名といいバラン スです。ガイドは前回からお願いしている東京シティガイドクラブのベテランガイドさん3名+研修生2名。我々の人数(24 名)の関係で、ガイドさんが3人となり、初めて3班編成で回りましたので、説明も聴きとりやすく評判がよかったようです。

午前9時30分、日本橋三越本店のライオン像前に集合、加藤桂子会長のごあいさつの後、集合写真撮影。「人形



集合所は日本橋三越ライオン像前 全員いいお顔! 以降は班毎に行動です



加藤桂子会長ごあいさつ

町七福神と人形町界隈 | の散歩に第1班から順に 出発進行!

最初の訪問は、【恵比寿 神】の二つ神社。行程の入

り口にある日本橋本町の寶田恵比寿神社と近くの日 本橋堀留町の相森(すぎのもり)神社では、毎年10 月20日の恵比寿神祭で使われる神像や魚や野菜が、 前日の19日から売られるようになり、この周辺で売ら れる「べったら漬」けが評判になり「べったら市」という名 が定着したようです。この時期、大伝馬町界隈では 500 軒以上の様々な露店が軒を連ね、多くの人が集

まります。椙森神社は一千年の昔の創建。また、江戸時代に宝くじの

前身と言われ る富興業が 行われた記念 として、境内 に「富塚」と名 付けられた石 碑がある。富 くじ「くじ」の日



境内にはべったら市の看板あり



密間稲荷神社 魚河岸や各種生業の守護神として崇められる。



**椙森神社** 広い境内を活かして第1班は集合撮影しました

にあたる9月2日、「とみ」にあたる10時3分に祈願祭を実施し ている。 3番目の訪問地は、日本橋浜町の笠間稲荷神社【寿 老人】。笠間藩主・牧野家により代々厚い信仰が寄せられ、安 政6年(1859)藩主牧野貞直公が笠間から御分霊を江戸下屋 敷に奉斎したのが始まり。 寿老人は日本橋魚河岸の守り神とし て、五穀・水産・殖産興業の守護神として商人庶民問わず広く 信仰を集めた。寿老人は長寿の神にして、お導きの神・幸運の神 として人々の運命を開拓して下さる福徳長寿の守護神といわれ

ている。 4番目の訪問地は、日本橋人形町2丁目の末廣神社。慶長元年(1596年)以前に稲荷祠として鎮座。この



末廣神社 "吉原"の氏神様



小網神社【福禄寿】強運厄除けの神



茶の木神社【布袋尊】防災生産の神

地にあって「吉原」の氏神として信仰された。延宝3年の社殿修復の際に中啓(末廣扇)が見つかったことから末廣神社と名付けられる。幕府に仕える武家からの崇拝も篤く、旗下火消し頭に庇護や祭事の奉仕もさせている。【毘沙門天】の御神徳は勝運向上が有名だが、病気平癒、厄除け、財運向上、福徳繁栄など多聞天ならではの幅広さを持つ。5番目の訪問地は、日本橋小網町の小網神社。健康長寿の【福禄寿】。太田道灌公の崇敬も篤く、神社名も道灌公が名付けられた。社殿が戦災を免れ、同神社のお守りを受け戦地に赴いた兵士全員が無地帰還したことなどから、「強運厄除の神」として信仰を集めている。なお、芸能界随一の神社好きとして有名な南海キャンディーズの山里亮太さんが、2019年6月12日に女優の蒼井優さんと結婚式を挙げたことで、「最強の縁結びの神」として人気となり、この日も何十人もの若い女性が訪れていました。6番目の訪問地は、日本橋人形町1丁目の茶ノ木神社【布袋尊】。徳川時代、この土地は下総佐倉藩(18万石)藩主・大老堀田家の3,000坪の上屋敷であった。この神社はその守護神として祀られた。神社の周囲に巡らされた土堤芝の上に

丸く刈り込まれ、芝と茶ノ木の緑が実に見事であったと伝えられている。今も防災・ 生産の神様として信仰を集めている。 7 番目の訪問地は、**宝生弁財天 水天宮** 



宝生弁財天 水天宮内【弁財天】幅広い御利益!

益が名高いと篤く信仰されており、今も安産・初宮・七五三祈願で多くの人 家生弁が訪れている。また、競馬の1年を締めくくるグランプリG1レース・有馬記念は、第 15代当主の有馬頼寧氏(日本中央競馬会第2代会長)の功績を讃えて創設されたものである。8番目の訪問地は、日本橋人形町2丁目の松島神社【大国神】。 創建は鎌倉時代の元亨(1321年)以前とされている。柴田家の祖先が下総の国からこの小島に移り住み、邸内に諸神を勧進し、夜ごと掲げる燈火を目標に舟人が航海の安全を得たと伝えられる。天正13年(1585年)邸宅を公開、島内松樹鬱蒼たるにより、正一位松島稲荷大明神の位記を奉られる。御祭神は大国主神をはじめ、ご神格の高い神様が、14柱と他社に比べて多い。

内【弁財天】。久留米藩 9 代藩主・有馬頼徳公が、加賀藩主・前田斉広 公と、宝生流能楽の技を競われた際、弁財天に願をかけ、見事に勝利を収 め、それ以来、宝生弁財天と敬われている。 芸事をはじめ学業・金運のご利



松島神社【大国神】航海安全の神様

\*\*打ち上げ昼食会 甘酒横丁近くの居酒屋「人形町 串八」にて。お刺身・串揚げ・唐揚げ・焼きおにぎり・漬物など







昼食会場「人形町 串八」貸切! 乾杯!直ぐに語らいの渦中へ 尽きぬ話の数々…

居酒屋らしい食事にビールと焼酎などで 乾杯。全員から今回のさんぽについて、 一言ずつ話していただき大いに盛り上が りました。道のりは 3.7km 余りでした。多 少の課題はありましたが、全体としては

「いい散歩」をしていただけたようです。(執筆:15 期 朝比奈康博 割付他:18 期 徳田光雄) date:2023.11.22 9:30-14:40

【ちょこっと解説】 岡部ガイドリーダーが、出発前に「七」の数字の縁起のよさを強調されました。 七福神の由来は諸説ありますが、「七という数字は七つの災難が消え、七つの福が生まれる」を意味する仏教経典『仁王経」の中の「七難即滅、七福即生」という言葉が元になっているとされる説が有力のようです。 七福神への信仰は、室町時代から始まったと伝えられ、

500 年以上にわたって日本人に受け継がれ、年々盛んになっているようです。「日本橋七福神」は他所と異なり、すべて神社で構成され、しかもこの地域にまとまっているため、時間的に日本で一番早く巡拝ができるのが特徴です。人形町通りや大門通りは、江戸下町の伝統と情緒を持つ繁華街で、下町情緒や歴史に触れながら、参拝できるのが一番の特長です。

### ◇閑話休題◇

「旧吉原」について: 江戸時代、人形町界隈は不思議な街だった。江戸時代初期に最初の遊郭がつくられたのは、人形町駅の西側当たりであり、この一帯は、葭(よし)の生える湿地帯だったので「葭原」と呼ばれ、これが転じて「吉原」となった。しかし、振袖大火ともいわれる「明暦の大火」(1657年3月)は江戸城天守閣及び家康開府から続く江戸の市街地の大半を焼き尽くした。(世界三大大火の一つとも言われる)。明暦の大火以降、「旧吉原」は無くなり、浅草のはずれの千束村に「新吉原」として移転した。人形町には、通り名としての「大門(おおもん)通り」が残っていて当時をしのばせる。

そもそも人形町は、寛永の頃、京都から歌舞音曲の名人猿若勘三郎が、江戸歌舞伎の猿若座(のちの中村座)を開き、その後村山座(のちの市村座)ができたなど、人形浄瑠璃、見世物小屋、曲芸、水芸、手妻(手品)など安い料金で楽しめる小屋のある場所だった。また、この界隈(人形町2丁目周辺)には人形を作る人、修理する人、商う人、人形を操る人形師らが大勢暮らしていたので、元禄時代には「人形丁」と呼ばれていた。

#### «花街としても栄える»

明治5年(1872)に水天宮が移転してきて、安産祈願の参拝客が押し寄せた。芸者置屋、料亭なども立ち並び「芳町花柳界」として栄えた。柳橋、新橋に次いで評価の高い高級花街だった。芳町芸者でもっとも有名なのは、「オッペケペー節」で有名な自由民権運動の活動家・川上音二郎と結婚した川上貞奴であろう。ともに欧米を巡業、日舞を披露して日本で最初の女優となった。もう一人の有名芸者は、あの「東京音頭」を大ヒットさせた小唄勝太郎である。芸者から歌手に転向し大成功を収めた。

# «カフェーの大流行»

大正時代になると、人形町駅の東側にカフェーが数多くできた。その一つがカフェー・パウリスタである。1935 年ころには80 軒ほどのカフェーが軒を連ねていたほどのブーム現象であった。カフェーは、いわゆる純喫茶ではなく、メニューには、カレーライス、ハヤシライス、カツレツ、お菓子としてカステラ、レモンパイ、アップルパイ、プリンなどがあり、女給が密接して接待するのが主であった。コーナーハウス、東天紅、モンパリ、オリンピック、駅馬車など店名も多彩だった。

(以上、三浦展氏の「繁華街の昔を歩く」より一部流用させていただきました)

## 補足: 今回さんぽの経路図

